

旧盛岡競馬場跡地環境ゾーン整備計画

1 整備計画策定の概要

環境ゾーンは、盛岡市上田字上堤頭地内ほか約 2.07 h a の区域にあり、旧盛岡競馬場跡地中央部の東側に位置している。用地については、平成 22 年度までに 16,481.43 m²（用地取得計画 17,632.58 m²の 93.47%）を取得しており、平成 24 年度には用地取得を完了する予定である。

環境ゾーンの整備については、平成 11 年 6 月に策定した「旧盛岡競馬場跡地利用計画」、平成 14 年 3 月に作成した「旧盛岡競馬場跡地整備基本設計」に基づき、環境問題を考える拠点として、自然観察や再生エネルギーの利用などによる環境学習の場、資源が循環する仕組みを体験できる場、環境啓発イベントを展開する交流の場を整備することとし、市民菜園などの整備を計画していたが、上田・緑が丘地区振興懇談会との懇談及び要望を踏まえ、具体的な整備内容を検討し、基本設計に修正を加えた整備計画を策定して、整備を進めようとするものである。

2 整備方針

利用計画及び基本設計における跡地整備基本方針の 5 つのうち「環境に配慮した地球にやさしいまちづくり」を具現化するため、環境問題を考える場として整備する。

また、跡地内の他ゾーンに配置する機能との相互連携を図ることにより、跡地全体の有効利用を促進する。

3 ゾーン内のエリア整備内容

整備方針をベースに、市産材や再生資材の活用を図りながら、次の 3 つのエリアに分けて整備する。

◇自然観察ができる環境学習の場 【観察の木陰】

公園ゾーンに隣接する当該ゾーン南側へ池、林、観察所を配置するとともに、公園及び保健福祉ゾーンへのアクセスがスムーズとなるよう園路や歩道橋を整備する。

◇再生可能エネルギーの学習や環境啓発イベント等を展開する交流の場 【光のガーデン】

環境啓発イベントを展開することができるような芝生広場の中に、再生エネルギーの仕組みを解説するパネル、ソーラー防犯灯、シンボルツリー、実の生る樹木等を整備する。

◇資源が循環する仕組みを体験できる場 【いこいの花畑】

生ごみから作った肥料などの資源が循環する仕組みを体験できるよう、ゾーン北側に花畑・花壇を設置し、花畑の脇には東屋を整備する。

4 整備のイメージ (次頁の図面参照)

【整備面積】	観察の木陰	約 5,300 m ²
	光のガーデン	約 5,300 m ²
	いこいの花畑	約 3,600 m ²
	その他 (駐車場, 駐輪場, 園路, 法面等)	約 6,500 m ²
	合計	約 20,700 m ²

5 概算事業費

概算事業費は、次のとおりである。

造成設計委託料	7,000 千円
造成工事 (荒造成, 整地工)	24,000 千円
施設工事 (生物生息の池, 観察所, 東屋, 駐車場, 園路)	65,000 千円
植栽工 (花畑客土, 桜, 低中高木, 生垣, 播種)	36,000 千円
合計	132,000 千円

(※ 下水道整備に要する費用を除く。)

6 整備スケジュール

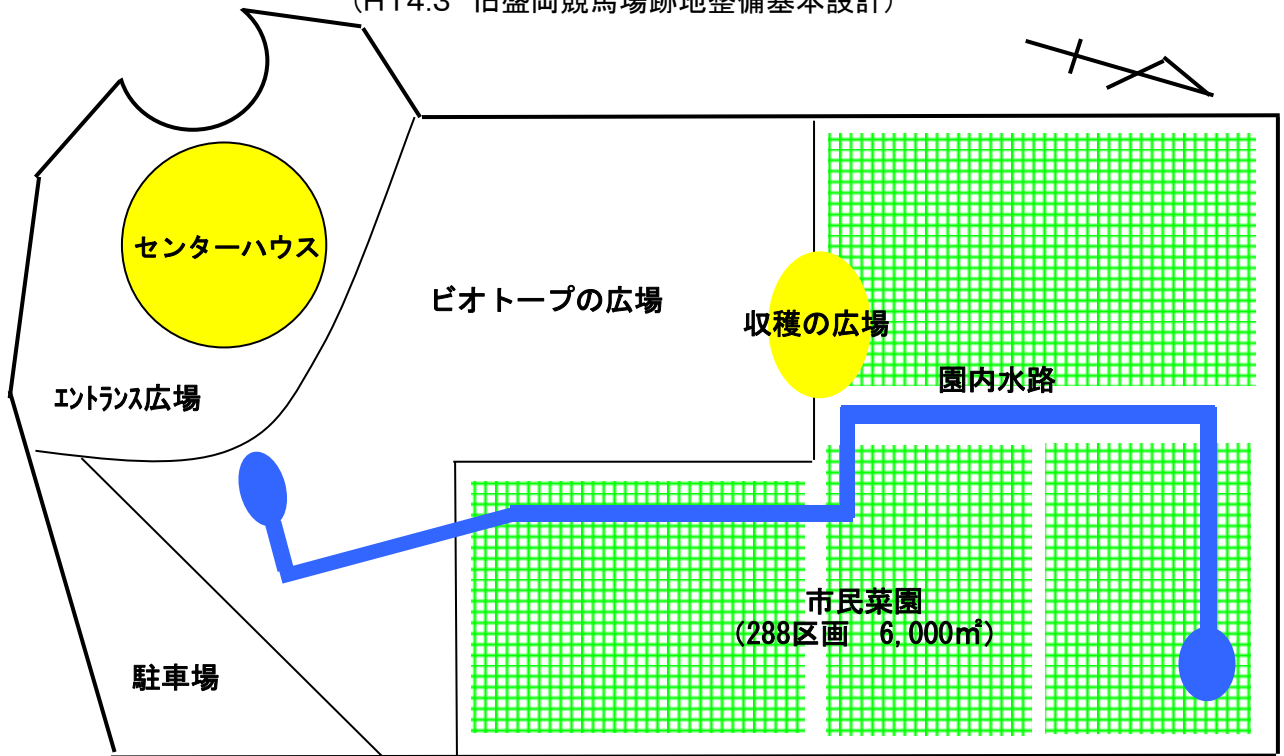
概略の整備スケジュールは、次のとおりとする。

施設	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5
環境ゾーン	地元調整 整備計画案決定			
		実施設計		
			造成, 施設工事	植栽工事
東西連絡道路		実施設計	造成, 築造	築造
下水道 (雨水)		実施設計	敷設工事	
上水道			敷設工事	敷設工事

<環境ゾーン変更対象図>

変更前

(H14.3 旧盛岡競馬場跡地整備基本設計)



変更後

(整備計画案)

